

いくつかの具体的なアイデア：  
集会在制限されている時に会議を開くために

新型コロナウイルスが世界中の国々に劇的な変化をもたらしています。集會に集まる人の数が厳しく制限されています。学校、会社などが何週間も、いえ、何カ月も休業しています。人々は食料と日用品を買いだめするために右往左往しています。そのために、お店の棚は品物を並べるとすぐに空になってしまいます。さらに、どの人も家で自ら隔離状態に入るように要請され、家の外では「人と人との間隔を取ることを実践するように要請されています。

でも、私たち MLC は集まりを止めることなく、一緒に祈り続けようと思います。知恵を働かせましょう。全く無料で安い料金のバーチャルな道具があります。これを使えば各グループが集まり、一緒に仕事ができます。

US Leadership Council はビデオ会議の道具として Zoom Meetings（ズーム会議）を使います。毎月、80 分間の集まりを持ち、今までに数多くの仕事をするために確実なディスカッションの方法を練習してきました。このソフトは 40 分間は無料で使えて、それより長く使う場合はわずか 15 ドルで済みます。URL は [zoom.us](https://zoom.us) です。

Skype も使えますが、Zoom の方が簡単に操作できます。理由は参加するためにユーザー名とパスワードを登録する必要がないからです。会議の中心になる人が、参加者全員に Zoom にリンクするように指示します。参加者はクリックしてリンクすれば Zoom が自動的にインストールされます。PC(コンピュータ)、タブレット端末、スマホで使えます。

このような機械技術が苦手な人には、簡単に会議電話をつなぐ方法があります。Zoom を十分に使いこなせないメンバーがいるので、私はこの方法がある MLC のために使っています。これは電話のようなものですが、全員が同時に通話できるわけではありません。私たちは、毎月、月ごとの Marianist reading (マリアニストが読む文書のこと) について話し合い、祈りを共有し、仕事を実行するために使っています。この方法は完全に無料です。URL は [freeconferencepro.com](https://freeconferencepro.com) です。

皆さん、現在の「人と人との間隔を取りながら会議をする」ときに、皆さんが使っているバーチャルな道具があるならば、私に知らせて下さい。来月、皆さんの意見を共有します。

「生涯を讃えて」  
マルセタ・レイリー

「何事にも時があり  
天の下の出来事にはすべて定められた時がある…  
神はすべてを時宜にかなうように造り…  
人間にとって最も幸福なのは  
喜び楽しんで一生を送ることだ。  
「コヘレトの言葉（伝道の書）」3章1節、11節、12節bより



私の兄であるデビット・フレミング神父（マリア会）が先月急逝しました。素晴らしい兄でした。私にとっては助言者であり霊的な指導者でした。弟たちもいますが、それぞれ7歳半ずつの差があります。デビットはマイクが生れる直前にセント・ルイスの修道会の高校に入学しました。

デビットと私の歳は離れていましたが、仕事についてはお互いに関係があり、政治と宗教について生き生きとした議論を交わしました。私が組織化された教会のやり方に怒っていると、彼はいくつかの道筋や書籍を教えてくれて、教会から離れんばかりであった私を引き戻してマリアニストに紹介してくれました。私がもうこれ以上教会に受け入れられないと思う時に、それを踏みとどまらせたのは、いつもマリアニスト家族でした。

デビットは私たち家族をマリアニストの世界に導いてくれて、私たちは彼が世界中で神の仕事をするのに従ってきました。私は、彼が亡くなったことを悲しんではられません。彼と一緒に仕事をしてきた世界中のマリアニストの人たちが、心のこもった手紙、お祈り、デビットについて楽しい思い出話をしてくれました。彼の本質に触れるような彼の名声、悲しかったこと、楽しかったことなどを。

彼が亡くなった日、私は数人のマリア会の共同体メンバーと共に彼の枕もとにいました。そしてロザリオの祈りを捧げました。彼の疲れたような呼吸が、穏やかな呼吸になりました。その後、彼がやさしく神に召されて、神の身元にそっと昇って行くのを見守りました。その様子こそ、私たちの人生の終わりにはこうありたいと思うようなものでした。

現在、アメリカ中に新型コロナウイルスが蔓延しています。葬儀を整えるのが大変です。デイトンのクリス・ウイトマン神父とセント・ルイス管区長のオスカー・バスケス神父は毎日新しい計画を立てなければならない状態です。直近の計画は、デビットをごく少数の人たちで葬儀ミサを行い、サン・アントニオに埋葬して、秋になったら「生涯を讃える集い」を行なおうという計画です。その時には、皆さんが集まり、話し合い、共に祈り、大好きな『お別れのうた』を歌

い、食事を共にし、ハグしたり、笑ったり、少し涙を流すことができるでしょう。その時までの間にデビットを追悼するならば、次の所をお願いします。

- District of India—Ministry Support
- Marianist Mission  
PO Box 340998  
Dayton, OH 45434-0998

この the REDS program は彼の気持ちに近く大切なプログラムでした。

私たちの家族に宛てて思いやりのある手紙とお祈りを送って下さった皆様に感謝します。私たちにとって心温まるものです。

マルセタ・レイリー  
デビット・フレミングの妹

[clm.mlc.northamerica@marianistas.org](mailto:clm.mlc.northamerica@marianistas.org)

祈りましょう

マリアニスト家族世界評議会より：

マリアニスト家族の兄弟姉妹の皆さま

コロナウイルスが世界中に広がって、仕事、生活、多数の人々の日常生活に影響しています。

マリアニストのメンバーとして、熱意を込めてこの祈りを捧げたいと思います。『主よ、コロナウイルスの影響を受けている人たちばかりでなく、その人たちを支えている医療関係の人たち、社会的な活動をしている人たち、宗教関係の人たちのために祈ります』

この祈りを、祈りの中でとかく忘れられてしまいそうなマラリア、デング熱、エボラ出血熱などの、その他の流行している病気の犠牲者にも捧げます。

私たちは個人的に、あるいは共同体の中で3月19日から25日まで、毎日、ロザリオの祈りを捧げるようにお願いします。次の導きの祈りに続けて：

**コロナウイルス、その他の流行している病気のために健康と生活が脅かされている人々のために祈りましょう。この人たちを支えている人たちのためにも祈りましょう。**

フランシス教皇の祈りを最後に祈りましょう。(以下に示してあります)

この祈りをこの期間だけでなく捧げられるようにしましょう。

皆さんの祈りと信頼が一つになるように。

The Marianist Lay Communities 国際チーム, MLC

The Alliance Mariale 評議会, AM

The Daughters of Mary Immaculate 評議会, FMI

The Society of Mary 評議会, SM

-----

『フランシス教皇の祈り』（2020年3月11日）

マリアよ、あなたは救いと希望のしるしとして、私たちの歩みを照らしてください。

あなたに病者たちの健康を託します。

あなたはイエスと苦しみを共にされ、揺るがぬ信仰を持って十字架の下に留まりました。

あなたは私たちの必要を知り、それに配慮してくださることを私たちは確信しています。ガリラヤのカナでの出来事のように、この試練の時を経て喜びと祝祭が戻りますように。

神の愛の御母よ、助けて下さい。私たちが御父のみ旨にかなうものとなり、イエスが命じることを行なえますように。イエスは私たちの苦しみを引き受け、私たちの苦悩を自らに背負われました。十字架を通して私たちを復活の喜びに導くために。アーメン。

聖なる神の御母よ、あなたの保護の下に私たちは身を寄せます。

試練の中にある私たちの祈りをさげすまないでください。

栄光ある、祝福された乙女よ、私たちをあらゆる危険から守って下さい。

アーメン